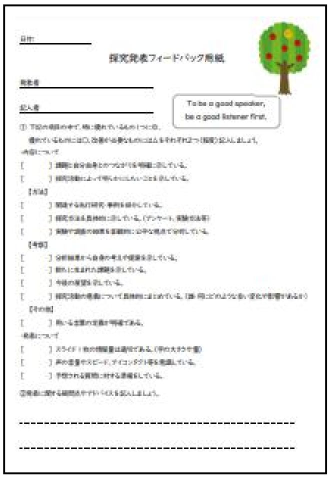
３年次通信 Moreover ～総探総集編～

令和6年6月27日第2号
青森県立弘前南高等学校

□ 7月4日（木）探究活動発表会代表者決定

ＨＲ	氏 名	発 表 タ イ ト ル
31HR	成田 亘毅	消費行動を促す方法
	白戸 花菜	特別支援教育の理解を深める
32HR	木村 幸音	子ども兵士
	福士 明莉	コミュニケーション能力に問題を抱える子どもへの幼児教育とは？
33HR	佐藤 叶蓮	良いものを作るだけで売れる時代は終わった！？
	遠間 未桜	消滅可能性自治体と青森県
34HR	加藤 心春	殺処分をゼロに近づけるために
	工藤 みなみ	建物の耐震性
35HR	秋庭 大輝	雪があっても滑りにくい点字ブロック
	成田 到	魚の耳石について
36HR	佐波 澪	産後うつ～母親にとっての子育て支援とは～
	田中 紅葉	"革新" を実現

□□ 生徒の振り返りから（原文から抜粋）



・発表はうまくいかないと思っていたけど、案外うまくいきました。今回の活動を通してやってみることの重要さを学べました。何事もチャレンジだと思いました。
・自分の探究したい目標を深掘りするとともにそこからもまた課題や考えが生まれたので活動全体を通して良いものになった。
・よかった点は人の良いところを見つける態度がより身に付いた事です。
・自分の興味のある分野以外の話も聞けたことで視野が広がった。
・人に見られるものであることを考えてスライドや発表に取り組めて良かった。これからは話す速さやアイコンタクトを意識するようにしたい。
・自分が大学で学びたい分野について今手の届く範囲でたくさん調べ、深めることができた。もっと堂々と発表するべきであった
・みんなの発表を聞くことでスライドの構成の仕方やアイコンタクトなど学ぶことがあり、とてもためになった。

□□□ To be a good speaker, be a good listener first.

ホームルーム発表会の目的の１つは、聞き手としての役割をしっかりと果たすことでした。そうすることで自身の発表をより客観的に見ることができ、日々の生活はもちろん、面接や小論文などでも役立つ視点を得られます。嬉しいことに、総探アンケートで200名以上がこれまでよりも聞き手の役割を果たすことができたと回答しています。目的をもった取り組みが改善につながる良い例となりました。

昨年10月から始まった個人課題探究は終了しますが、それぞれの探究はこれからも続きます。身に付けた探究の手法やスキル、視点を様々な場面で活用することを期待しています。